

星野直樹 官僚，政治家。満州国を動かす"2キ3スケ"の一人で，東条英機側近として大きな発言力を保持した。

ほしのなおき

大本教・・・1892 = 神奈川県横浜に生まれる。

日清戦争始・1894 = 2歳：

田中正造直訴1901 = **9歳**：

日露戦争終・1905 = 13歳：

韓国併合・・・1910 = **18歳**：

第一高等学校を経て，

明治天皇没・1912 = 20歳：

東京帝国大学法科大学に進み，

ロシア革命・1917 = 24歳： 文官高等試験合格後，
本格政党内閣1918 = 25歳： 政治科を卒業して，大蔵省に入り，

財団法人条約・1919 = **27歳**：大阪の北税務署長となって以後，税務関係を歩む。

原敬首相暗殺1921 = 29歳：

円本時代始・1926 = 34歳：大蔵事務官，

共産党事件・1928 = **36歳**：

満州事変・・・1931 = 39歳：

五一五事件・1932 = 40歳： *大蔵省営繕管財局国有財産課長在任中，推されて満州国官吏に転出。

同国財政部理事官，財政部総務司長財政部次長，國務院総務庁長を経て，

日中戦争始・1937 = **45歳**： *國務院総務長官に就任。在任中は，東条英機とともに満州国を動かす<2キ3スケ>の1人として，同国の財政経済を統轄した。

大政翼賛会・1940 = 48歳： 帰国して，第2次近衛内閣の企画院総裁に就き，資本と経営の分離などナチスばりの革新理念を盛った経済新体制要綱原案を作成，自主統制を主張する財界との間に激しい摩擦を生じ，

日米開戦・・・1941 = 49歳： *辞職。貴院議員に勅選されたが，東条内閣の出現とともに書記官長に起用され，東条側近として大きな発言力を保持。総力戦研究所長事務取扱・同参与，国家総動員審議会委員・企画院参与等もつとめた。

年金+総武装 1944 = 52歳： 東条退陣とともに辞任後は大蔵省顧問，

敗戦・・・1945 = 53歳： *敗戦後，

新憲法公布・1946 = **54歳**： A級戦犯として，極東軍事裁判で終身刑を宣告されたが，

独立回復・・・1951 = 59歳：

55年体制始・1955 = **63歳**：

インフラマ・1958 = 66歳： 放免され，

安保闘争・・・1960 = 68歳：

以後，東京ヒルトンホテル副社長・東急国際ホテル社長・旭海運社長・東急電鉄取締役・ダノヤモンド社会長などをつとめる。

東京初光 1964 = **72歳**：

石油ショック1973 = **81歳**：

成田衝突・・・1978 = 86歳： 没した。

平凡社百科事典，